

一般質問

ここが聞きたい

町長等の執行者に対して、町政全般の事務事業等の執行状況や政策方針などを聞くことが一般質問です。

寄診療所の医療体制の整備と 新型コロナウイルスワクチン接種



質問者
寺嶋 正 議員

- (1) 新型コロナウイルスワクチン接種の関係で診療日を縮小している寄診療所に新たな医師を採用し、通常の診療を再開することや、開設されて30年以上経過した診療所の医療機器の更新計画について。
- (2) 寄診療所における保存温度を経過したワクチンを使った医師の聞き取り調査・処分、ワクチン接種された方の抗体検査とワクチンの再接種等の経過について。
- (3) 新型コロナウイルス感染症拡大により緊急事態宣言が出されたが、64歳以下のワクチン接種の見通し、若年層の感染防止対策や公共施設の使用制限の状況などについて伺う。

A 新しい医師を 迎え診療再開



回答（町長）

- (1) 9月1日より、新しい医師を診療所長に迎えて診療を再開。月曜日から金曜日まで医療の提供が可能となった。最近ではレントゲン画像読取装置を導入するなど、耐用年数や制度改正等に医療機器の入れ替えをする。
- (2) 前医師は、町に迷惑をかけて申し訳ないので寄診療所を辞めたいとのこと。処分などの具体的な措置は弁護士とも相談。

教育環境の充実を



質問者
南雲 まさ子 議員

今後、地方公務員法にのっとり行う。
(3) 9月12日時点で、64歳以下の1回目のワクチン接種率は62%、2回目

は51.2%の見込み。
学校等では、換気、消毒など感染対策を行っている。家庭内での感染防止で注意喚起。

- (1) 地域参加型の「コミュニティ・スクール」を推進することで地域の創意工夫のある学校運営が進むと考えますが、導入に向けての本町のお考えは。
- (2) 海外の方を招聘し日本の学校で英語を教える「JET（ジエット）プログラム」を導入するお考えは。
- (3) コロナ禍で女性の生理の貧困が問題となっており、任意団体の「みんなの生理」によると、貧困やネグレクトにより生理用品を買ってもらえない子供たちがいるとの指摘があります。小中学校への生理用品の無償提供のお考えは。

A 子ども達の 健やかな成長の ために



回答（教育長）

- (1) 「コミュニティ・スクール」設置に向けては、人材確保等の課題がある。現在設置に向け準備を

進めているが、未来を担う子供たちの健やかな成長を見守っていくためにも、今後導入を目指していく。
(2) 松田町教育大綱で、外国語教育の大切さを掲げている。
JETプログラム導入の検討も考慮しながら、現場の先生の意見を聞き、外国語指導の強化を図る。
(3) 生理用品は、各学校とも保健室で準備している。今のところ、個室トイレに生理用品の設置は考えていない。生理用品が必要な子どもが保健室にきて、養護教諭と話すことも、ネグレクトや貧困の潜在化等が発見しやすいと考える。



松田小学校ALT(外国語指導助手)授業

このページは、質問者本人の原稿を尊重し編集しています。